

公益財団法人 和敬塾について



<60年以上の伝統>

和敬塾は、社会人としての知性と徳性を備えた人材を育成するため、「共同生活を通した人間形成」をモットーに、国内外の様々な地域からの大学・大学院に在籍する男子大学生のための学生寮として 60 年以上にわたり運営してきました。



<7,000 坪の広大な敷地に 4 つの寮と

様々な施設を完備>

文京区目白台の閑静な文教地区に位置して南に神田川を臨み、深い緑に包まれた旧細川侯爵邸の約 7,000 坪の広大な敷地に、共同生活の拠点である東寮・西寮・新南寮・北寮の 4 つの寮を有し、敷地の中心には、東京都指定有形文化財の洋館（和

敬塾本館）が佇み、その周辺にはグラウンドやテニスコート、480 名収容の大講堂や 24 時間利用可能な自修室などがある学生ホール、武道場、音楽練習場など、充実した施設を備えています。



・H28年の塾祭：記念講演
富士フィルム／古森重隆会長（当時）

<教養講座や一流講師陣による講演会の開催>

この恵まれた環境で、一流講師陣の指導のもと、日本の伝統文化や武道、西洋・東洋の古典輪読会や英会話教室など、教養と品位の涵養に向けた 12 の教養講座も設けられています。また、各界の第一人者を招聘しての講演会・シンポジウムは創立以来 550 回以上にのぼり、大学だけでは学べない興味深い講話に耳を傾けることが出来ます。



マナー講座

<コミュニケーション能力を培う様々な企画>

寮では、1 年生から 4 年生と留学生で構成する「班」を中心に、日常生活での交流を深めながら気づきと見つめ直しを繰り返すなかで、思いやり、礼儀、敬意、協働意識や、意思を通わせるコミュニケーション力、気持ちに寄り添う共感力、多様な意見に耳



教養講座：居合道

を傾ける傾聴力といった社会で益々求められる感性と能力を醸成しながら、正解のない社会を「しなやかに逞しく生き抜く力」を育んでいきます。

また、全体行事として、3年生が劇を演じる5月の塾祭、6月の一昼夜かけて山の手線を一周する山の手一周ハイクでは、1年生にとって先輩との距離を一挙に近づける機会となります。

9月の体育祭では、各寮の体育部長を中心に10数種目の競技日程の全体計画の立案から場所の確保、練習、安全対策に至るまで、全て自分たちで実行し、各競技に参加していくことで一体感を強く体験する大切な機会となります。(近年はコロナ禍で一部中止となった行事もあります。)



塾祭／3年生劇



山の手一周ハイク

<手作りの食事を提供>

健康面でも様々な対策をとっています。

塾費に含まれる毎日の朝食と夕食は、栄養士によるメニューに基づき、栄養バランスのとれた美味しい食事を提供し、食堂での仲間との食事は、絆を感じる楽しいひと時です。

<5000人を超えるOB、就職支援も！>

和敬塾の卒塾生は5000人を超え、各界で活躍しており、適宜後輩の為に講演会にも参加してもらいます。また、同じ釜の飯を食べた和敬塾OBは生涯の友となり、各地に支部を結成し、交流を深めると共に、在塾生の就職相談にも気軽に乗ってくれます。



OBによる講演

東京海上HD会長（当時）／隅修三氏（45北）

<感染対策も万全です！>

新型コロナウイルスの感染対策にも取り組んでいます。

食堂はマスク着用での入場と黙食を徹底。対面での着席も禁止しています。

どんなに注意して感染予防対策をしていても防ぎきれない強い感染力にあって仮に発症、濃厚接触者になった時には、速やかに保健所と連携し、塾内の別棟に迅速に隔離するとともに、食事は朝・昼・夕とも手配して部屋まで運び入れることで日々の健康状態を職員が見守りながら、健康面と安全を確保します。



食堂の感染対策も万全です！

新入生にとってオンライン授業で仲間ができないといった悩みも、目の前に同期と先輩の仲間がいる和敬塾にはありません。混沌とした21世紀社会にあって、人間力の重要性がますます高まっています。「共同生活」という環境を通じて、互いに協力し合って「公」に貢献する、そのような人間成長を目指しているのが和敬塾です。



2024年1月18日 和敬塾事務局

和敬塾の理解を深めて戴くために、和敬塾メールマガジン・塾紹介号を作成しました。
3月末までの期間限定で数回の配信を予定しておりますので、ご了承下さい。

昨年一年の和敬塾の行事を紹介します！

和敬塾には数多くの行事があり、この内容を中心に紹介する和敬塾メールマガジンを配信しております。

ここ数年はコロナ禍の影響で多くの行事が制約を余儀なくされていましたが、昨年は従来からのほとんどの行事を復活することができました。

今号は昨年 1 年の主な行事を振り返ると共に、その主な行事を紹介したバックナンバーを紹介させて戴きます。

【4/9:入塾式】

4月9日(日)、令和5年度の和敬塾入塾式が学生ホール・大講堂で開催されました。

本年度の新入塾生は日本人 53 名、留学生 37 名で、久しぶりに保護者の方にも参加戴きました。



久しぶりに保護者にも参加戴いた入塾式



塾祭:恒例となった 4 寮代表の留学生挨拶



山の手ハイク:新宿・靖国通り & 明治通り交差点の新南寮生

【5/14:創立記念塾祭】

5月14日(日)に開催された創立記念塾祭では、4寮代表の留学生の挨拶の後、山極壽一・総合地球環境学研究所長(前・京都大学総長)から、「人間の共同性はどう進化してきたか」というテーマでご講演を戴きました。



【5/27:山の手一周ハイク】

5/27(土)夜～28(日)早朝にかけて、塾生委員会主催の山の手一周ハイクが開催されました。これは新入塾生の歓迎の意義も込めた恒例行事で、この日は月も煌々と輝く絶好の天気に恵まれ、気温も20℃前後と絶好のハイキング(?)日和となりました。

【6/24:演劇祭】

演劇祭は例年5月の塾祭の日に三年生劇(通称:三劇)として開催されて来ましたが、コロナ禍の3年間は開催できず、4年ぶりの開催にこぎつけました。しかし、在塾生の誰もこの三劇を経験したことなく、手探りの開催となつたため、開催日も塾祭から遅れること約6週、出演者も三年生に限定することなく、寮生が一丸となって取り組むことになった為、名称も「和敬塾演劇祭」となりました。



演劇祭:最優秀団体賞の北寮「八人の怒れる男たち」

【7/6:台湾大学生訪日研修団来塾】

第42回台湾大学生訪日研修団一行が7月6日～7日にかけて来塾し、茶道研修や塾生との交流を中心とする一泊二日の研修を行いました。この訪日研修は日本航空と日華青少年交流協会が主催し、1979年から実施しているもので、和敬塾での研修も1989年から行われてきました。しかし、コロナ禍の影響でこの3年間は訪日研修自体が中止となり、4年ぶりの訪日、来塾となったものです。



日華交流：茶道のお点前を受ける台湾訪日研修団メンバー

【9/17:体育祭・騎馬戦】

9月4日(月)から始まった今年の体育祭ですが、17日(日)に3年ぶりの開催となる本祭(騎馬戦)が行われ、4寮総当たりの6試合が行われました。結果は東寮が3戦全勝を飾り、騎馬戦の優勝寮となり、他の多くの種目でも得点を重ね、今年度体育祭の総合優勝を飾りました。



騎馬戦：東寮(緑)大将騎に突っ込む西寮(黒)大将騎

【12/10:予餞会】

卒塾生は年が明けると次の準備のために順次退塾してしまうため、卒塾式は12月に予餞会として開催します。

4寮代表の卒塾生の挨拶の後、元外務次官の薮中三十二先生に「緊迫する国際情勢と日本の針路」というテーマで講演して戴きました。

この日、薮中氏はTBS系のサンデーモーニングに生出演した後、来塾戴きました。



予餞会：答辞の挨拶をする4寮代表の卒塾生

<和敬塾メールマガジン・バックナンバーリスト>

以下をクリックすると上記の主な行事を紹介した各号が閲覧できます。

- [和敬塾メールマガジン 30号](#)
- [和敬塾メールマガジン 32号](#)
- [和敬塾メールマガジン 33号](#)
- [和敬塾メールマガジン 37号](#)
- [和敬塾メールマガジン 38号](#)
- [和敬塾メールマガジン 45号](#)
- [和敬塾メールマガジン 46号](#)
- [和敬塾メールマガジン 55号](#)

- 入塾式
- 創立記念塾祭
- 山の手一周ハイク
- 演劇祭
- 台湾大学生訪日研修団来塾
- 体育祭(9/4～9・)
- 体育祭・騎馬戦
- 予餞会

<文責：佐藤一義(和敬塾専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン・塾紹介号 Vol.2

2024年1月 26日 和敬塾事務局



和敬塾の理解を深めて戴くために、和敬塾メールマガジン・塾紹介号を作成しました。
3月末までの期間限定で数回の配信を予定しておりますので、ご了承下さい。

和敬塾における講演者の色紙を紹介します！

前回の塾紹介号 Vol.1 では昨年 1 年の和敬塾の主な行事を紹介しました。

今回は、和敬塾で講演を戴いた方々の色紙の一部を紹介致します。

現在、和敬塾では 4 月の入塾式、5 月の創立記念塾祭、12 月の予餞会(卒塾式)の年 3 回、式典の中で様々な分野の有識者による記念講演を行っています。この講演会は創立からしばらくの間は毎月のように行われており、講演回数はこれまでに 600 回を超え、その多くの方々の色紙が残っています。

その一部が和敬塾学生ホール 2 階の大講堂前の廊下に掲示されていますが、今回はその中のごく一部を紹介するものです。(学生ホール掲示の色紙を見学希望の方は、事前にご連絡戴ければ幸いです。)



<和敬塾学生ホール 2 階・大講堂前の廊下に掲示してある講演者の色紙>



片山哲 氏 川原田政太郎 氏

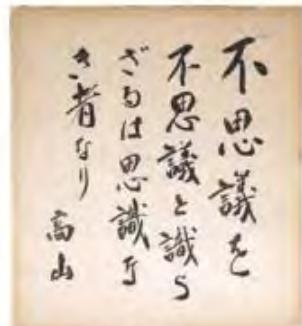
森繁久弥 氏 唐島基智三 氏



植村直巳 氏 大来佐武朗 氏 堀屋太一 氏

立花 隆 氏 福田恒存 氏 天谷直弘 氏

講演者色紙紹介(昭和32年～平成10年抜粋)



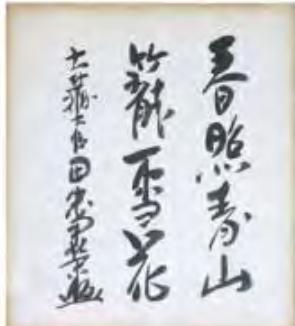
S32.9.15 ご講演
哲学者
高山岩男先生



S34.10.21 ご講演
柔道家
三船久藏先生



S34.10.26 ご講演
言語学者
金田一京助先生



S38.5.15 ご講演
内閣総理大臣
田中角栄先生



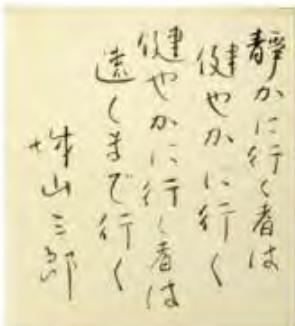
S37.4.17 ご講演
俳優
森繁久彌先生



S38.6.22 ご講演
理論物理学者
湯川秀樹先生



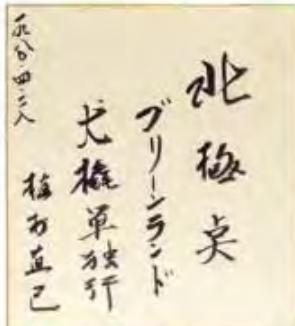
S44.10.25 ご講演
ソニー創業者
井深大先生



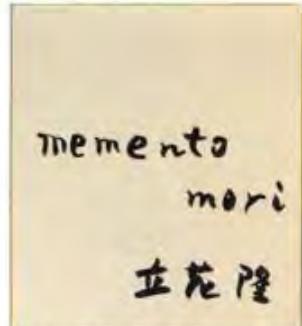
S51.12.7 ご講演
作家
城山三郎先生



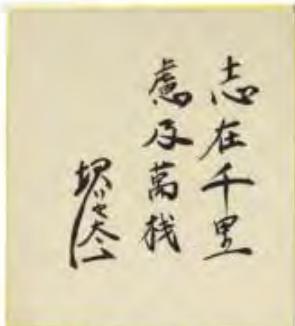
S54.5.1 ご講演
カトリック枢機卿
白柳誠一先生



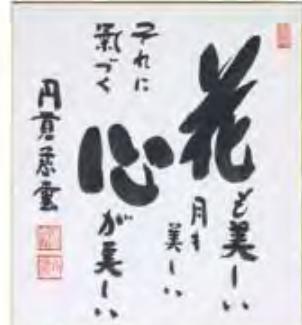
S55.4.28 ご講演
冒險家
植村直己先生



S55.10.30 ご講演
ジャーナリスト
立花隆先生



S55.12.10 ご講演
経済企画庁長官
堺太一先生



S57.6.9 ご講演
円覚寺派管長
足立大進先生



S62.6.22 ご講演
駐日アメリカ大使
マイク・マンスフィールド先生



H7.6.18 ご講演
早稲田大学総長
奥島孝康先生



H10.4.12 ご講演
解剖学者
養老孟司先生

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>
*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン・塾紹介号 Vol.3



2024年2月2日 和敬塾事務局

和敬塾の理解を深めて戴くために、和敬塾メールマガジン・塾紹介号を作成しました。
3月末までの期間限定で数回の配信を予定しておりますので、ご了承下さい。

和敬塾における最近の講演者を紹介します！

前回の塾紹介号 Vol.2 では講演者の色紙を紹介しました。

現在、和敬塾では 4 月の入塾式、5 月の創立記念塾祭、12 月の予餞会(卒塾式)の年 3 回、式典の中でも様々な分野の有識者による記念講演を行っています。今回は、和敬塾で直近の 10 年で上記の 3 つの式典で講演を戴いた方々を紹介致します。(講師名欄にある「塾友」は和敬塾 OB のことです。)

<入塾式>

(敬称略・役職は講演当時のものです。)

開催日	講 師 名	役 職
H25. 4.14	鎌田 薫	早稲田大学 総長
H26. 4.13	濱田 純一	東京大学 総長
H27. 4.12	東原 敏昭	日立製作所 代表執行役社長兼 COO
H28. 4.10	木村 清孝(塾友)	東京大学 名誉教授
H29. 4. 9	荻田 敏宏	ホテルオークラ 代表取締役社長
H30. 4.10	大西 賢	日本航空株式会社 取締役
H31. 4. 7	大野 弘幸	東京農工大学 学長
R 3. 4.11	吉村 剛史(塾友)	ジャーナリスト(元産経新聞台北支局長)
R 4. 4.10	ティムラズ レジャバ(塾友)	駐日ジョージア特命全権大使
R 5. 4. 9	石山 卓磨(塾友)	大原大学院大学 学長

※令和 2 年度の入塾式は中止

<塾祭>

(敬称略・役職は講演当時のものです。)

開催日	講 師 名	役 職
H25. 5.12	林家 鉄平	落語家
H26. 5.11	村治 奏一	クラシックギター奏者
H27. 5.17	石田 寛人(塾友)	金沢学院大学 名誉学長・元チェコ大使
H28. 5.15	古森 重隆	富士フィルム HD 代表取締役会長
H29. 5.14	海老沢 勝二	元 NHK 会長
H30. 5.13	跡見 裕(塾友)	杏林大学 名誉学長
R 1. 5.12	齋藤 健	前農林水産大臣 衆議院議員
R 4. 5.15	成澤 廣修	文京区区長
R 5. 5.14	山極 壽一	総合地球環境学研究所所長(前京都大学総長)

※令和 2 年度、3 年度の塾祭は中止

※H26 年以前の塾祭では、講演の代わりに楽器演奏等の公演も開催されていました。

<予餞会>

(敬称略・役職は講演当時のものです。)

開催日	講 師 名	役 職
H25.12.8	河相 周夫	元外務事務次官・外務省顧問
H26.12.14	吳 善花	拓殖大学 教授
H27.12.13	月尾 嘉男	東京大学 名誉教授
H28.12.11	林 信秀	みずほ銀行取締役 頭取
H29.12.10	朝田 照男	丸紅株式会社 取締役会長
H30.12.9	柳川 範之	東京大学大学院 経済学研究科教授
R 1.12.15	松山 大耕	臨済宗妙心寺派退蔵院 副住職
R 3.12.12	上野誠(塾友)	國學院大学 教授
R 4.12.11	遣田 重彦(塾友)	リュックス・アドバイザリー・ジャパン(株) 代表取締役
R 5.12.10	薮中三十二	元外務事務次官、大阪大学 特任教授

※令和2年度の予餞会は中止

講演者写真・抜粋（年代順・役職は講演当時のものです。）



鎌田・早大総長



濱田・東大総長



東原・日立製作所社長



古森・富士フィルム HD 会長



海老沢・元 NHK 会長



朝田・丸紅会長



レジャバ・駐日ジョージア大使



山極・前京大総長



薮中・元外務事務次官

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン・塾紹介号 Vol.4



2024年2月9日和敬塾事務局

和敬塾の理解を深めて戴くために、和敬塾メールマガジン・塾紹介号を作成しました。
3月末までの期間限定で数回の配信を予定しておりますので、ご了承下さい。

今号は昨年3月15日に配信した和敬塾の食事について紹介した内容を再配信します！

初公開！ 和敬塾の食事(夕食)を紹介します！

和敬塾は塾生に朝夕の食事を提供することを特徴としており、メニューは家庭料理を基本に、食堂スタッフ(塾職員)が丹精を込めて調理しています！また、季節料理を出す工夫もしており、今回は「3月3日のひな祭り」にちなんだ「ちらし寿司＆桜餅 etc.」から1週間分を紹介します。

3/3(金)



3/3(金)	ちらし寿司 茶碗蒸し 清まし汁 桜餅		
エネルギー - (kcal)	936	蛋白質	38.0
脂質	13.4	食塩	4.2

3/4(土)



3/4(土)	チキンカレーライス コールスロー シューアイス		
エネルギー - (kcal)	1050	蛋白質	40.5
脂質	27.2	食塩	2.8

3/5(日)



3/5(日)	ご飯 串カツ アスパラとペンネの クリーム煮 ひじきのマリネ 清まし汁		
エネルギー - (kcal)	1034	蛋白質	34.1
脂質	20.2	食塩	3.0

3/6(月)



3/6(月)	ご飯 タンドリーチキン カリフラワーのトマト煮 マカロニのシーザーサラダ コンソメスープ		
エネルギー (kcal)	1068	蛋白質	40.8
脂質	33.1	食塩	2.7

3/7(火)



3/7(火)	ご飯 豚の山椒炒め 南瓜の煮物 ほうれん草とイカの和え物 味噌汁(赤味噌)		
エネルギー (kcal)	1039	蛋白質	42.9
脂質	25.6	食塩	2.7

3/8(水)



3/8(水)	ご飯 焼き餃子 高野豆腐の豆板醤炒め ササミと小松菜の煮浸し わかめスープ		
エネルギー (kcal)	1038	蛋白質	34.7
脂質	26.4	食塩	3.2

3/9(木)



3/9(木)	ご飯 鶏肉のみぞれ煮 海老と蒟蒻のピリ辛味 切干大根のあちゃら 味噌汁(赤味噌)		
エネルギー (kcal)	1085	蛋白質	42.1
脂質	31.9	食塩	3.0

【特別企画】

今週の朝昼夕・3食のメニューと今日の昼食、食堂の雰囲気をお伝えします！

予定献立表							
2023年3月12日(日)~3月18日(土)							
	12日(日)	13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)	18日(土)
朝	御飯 納豆 さつま揚げの甘辛煮 味噌汁～合わせ味噌～	パン ボトフ フルーツミックス 牛乳	御飯 生卵 ちゃんぽん風炒め 味噌汁～赤味噌～	パン さっくりメンチカツ 野菜サラダ ヨーグルト 牛乳	御飯 納豆 信田煮 いんげんの胡麻和え 味噌汁～合わせ味噌～	パン 南瓜とベーコンのチーズ焼き 野菜サラダ バナナ 牛乳	御飯 生卵 豆腐のそぼろあん 味噌汁～合わせ味噌～
	親子丼 味噌汁～赤味噌～	鶏白湯ラーメン 御飯	御飯 鶏の唐揚げ 豚汁	ドライカレー 野菜サラダ	桜海老と秋刀のかき揚げそば お稲荷さん	御飯 ポークチャップ ポテトサラダ 味噌汁～白味噌～	ほうとう風うどん 菜御飯
	鶏の五目中華丼 サンラータン ごま団子	御飯 チキンソテー 大学芋 フロッコリーサラダ 味噌汁～白味噌～	御飯 豚キムチ 高野豆腐の卵とじ ナムル 味噌汁～白味噌～	御飯 鶏のチリソースかけ 海老と青梗菜の炒め物 大根サラダ 中華スープ	御飯 豚肉の大和煮 五色野菜炒め くらげの酢の物 味噌汁～合わせ味噌～	御飯 鰯の西京焼き 肉じゃが 胡瓜とカニのマヨ和え かき玉汁	御飯 豚肉のホイル焼き 五目豆 キャベツのお浸し 味噌汁～合わせ味噌～
※メニューは変更する場合があります。							
公益財団法人 和敬塾							

※毎週のメニューは和敬塾ホームページの「塾生の皆さんへ」で確認できます。

<今日の昼食と食堂の様子>

今日の昼食はドライカレー(キーマカレー)と野菜サラダでした。(昼食は食券を購入いただきます。)

今日の食堂は春休み期間中であり、人気メニューでもあって、塾生が多く来していました。



※上記の食堂の写真は、2023年3月15日の昼食時のもので、コロナウイルス感染防止の観点から、対面禁止としておりましたが、現在は対面での食事を楽しんでいます。(2024年2月9日)

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

新年度の新入塾生を募集中です！

**見学や体験宿泊(1泊2食付:2,000円)も随時受付中です！
お問合せは下記へ！**

*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp> TEL:03-3941-7446



和敬塾メールマガジン特別号 I



2024年5月10日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン増刊I号をお送り致します。
今回は寄附金に伴う講演録の進呈に関するお知らせとなります。(詳細は最終頁参照)

和敬塾創立70周年事業に向けてご寄附のお願い

和敬塾は来年、創立70周年を迎えます。現在、和敬塾では「創立70周年事業」として、現役塾生が更に充実した学生生活を送ることができるよう塾内環境の整備他、各種事業を推進しております。

和敬塾では、常時3,000円以上からのご寄附を受け付けており、また寄附金に対する税制措置として、「税額控除対象法人」となっております。3,000円一口でのご寄附も大歓迎でございますので、多くの方のご協力を、よろしくお願い申し上げます。

70周年事業の概要、ご寄附の方法、寄附金に対する税制上の優遇措置につきまして、以下の内容をご覧下さい。

① 食堂のリニューアル

- ・食堂の窓枠(鉄製)を木製サッシに交換します。
- ・内装工事として、床のタイルの補修、壁の塗装等を行います。



② 敷地内樹木の整備

- ・令和5年8月～9月に今年度第1期工事として、正門からメインストリートを中心に剪定作業を行いました。
- ・本館、東寮周辺の樹木は、令和6年1月～3月に実施致しました。



③ 大講堂のグランドピアノのリニューアル

- ・入塾式、塾祭等でこのピアノの伴奏で歌う塾歌は、塾生たちの共通の思い出です。創立時から70年間、全ての塾生を見送ったピアノにつき、思い出を残しつつオーバーホールを行う予定です。



④ グラウンド及びテニスコートの整備

- ・令和5年9月に、4年ぶりに当グラウンドで騎馬戦が行われ、多くの塾友の皆さんにも駆け付けて頂きました。
- ・令和6年の体育祭前に、専門業者によるグラウンド整備(土の一部入替等により水はけ改良等)を行います。



⑤ 「和敬塾講演録」の出版 (詳細はメールマガジン第68号でお知らせします。)

- ・令和6年5月の創立記念日に合わせて第1巻を発刊し、続いて令和7年5月に第2巻を発刊する予定です。

ご寄附方法等のご案内

申込方法並びに払込方法は以下の2通りよりご選択いただけます。

① <和敬塾ウェブサイトからクレジットカードでのお手続き>

和敬塾 HP
寄附金サイトにアクセス
<https://www.wakei.org/about>



申込者情報

クレジットカード(VISA・MASTER)
外部決済サイトにアクセスしますので、
お手続きください。

以下をクリックいただければ和敬塾 HP の寄附金サイトにアクセスできます！

[寄附金受付 | 東京・目白の男子大学生寮 和敬塾 \(wakei.org\)](#)

② <銀行振込(ゆうちょ銀行・みずほ銀行)>

A. 専用振込用紙ご利用の場合

「専用振込用紙」と『寄附金申込書』をお送りしますので、電話またはメールにてご連絡ください。

『寄附金申込書』にご記入の上、寄附金担当までお送りください。
※郵送・FAX または記載内容をメールで
いただいても結構です。

【ご郵送の場合の宛先】
〒112-8682 東京都文京区目白台 1-21-2
公益財団法人和敬塾 墓事務所 担当 並木宛

「専用振込用紙」に必要事項をご記入の上、
最寄りの金融機関にてお振り込みください。
※振込手数料はかかりません。

B. 専用振込用紙を利用しない場合

和敬塾 HP 寄附金サイトにアクセス
<https://www.wakei.org/about/donation>



申込者情報入力

お手持ちのインターネットバンキングより
お手続きいただくか、
最寄りの金融機関にてお振り込みください。
※お振込みの際の手数料はご負担ください。

<ゆうちょ銀行>
送金先口座: 記号番号 00140-3-33670
送金先口座名義人名: 公益財団法人 和敬塾
(サイ)ワケイジュ

<みずほ銀行>
入金口座: みずほ銀行 深川支店 普通
3025555
受取人名: 公益財団法人和敬塾 寄附金口
ザイ)ワケイジュキフキンチ

【寄附金に対する税制上の優遇措置について】

和敬塾は東京都より「税額控除対象法人」の証明を受けており、個人の寄附者は「所得控除」に加え、より減税効果の高い「税額控除」の選択が可能です。どちらかを選択し、当財団より送付された「受領書」と「税額控除に係る証明書の写し」(当財団ホームページよりダウンロード可能)を持参の上、最寄りの税務署で確定申告を行ってください。

お問い合わせ先

TEL (03)3941-7446 FAX (03)3941-7482

メールアドレス:naokk@wakei.or.jp 寄附金担当 並木までお問い合わせ下さい。

◇◇ 税額控除対象法人再申請につきましてご協力のお願い ◇◇

前頁で紹介した税額控除制度が適用される対象法人であり続けるためには、この制度が適用された令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間で、ご寄附500口以上の実績が必要となります。(5年毎に再申請が必要で、その度に前5年間の口数の実績がチェックされます。)

以下の【口数判定要件について】をご参考にいただき、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

【口数判定要件について】

1. 一口 3,000 円以上、氏名・住所をご連絡いただく必要がございます。
2. 寄附者ご本人と生計を一にする方(例えば、配偶者・親子など)は、一人(一口)として判定されます。(別住所の場合は、二人(二口)と判定されます)
3. 同一氏名・同一住所で、同じ年度内(4月1日～翌年3月31日)にご寄附をいただくと、一人(一口)として判定されます。
(例:1回目は令和5年5月20日、2回目は令和6年2月15日)
※ 年度が変われば、新たに一人(一口)と判定されます。

上記のように、税額控除対象法人の継続には高いハードルがあり、このままですとその継続が危ぶまれる現状にあります。

何卒、諸般の事情をご了解いただき、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

<塾友と塾生の保護者様限定特典！>

5,000円以上の寄附を戴いた塾友と塾生の保護者様
全員に和敬塾講演録Ⅰを進呈いたします！



和敬塾創立70周年を記念して、様々な記念事業を計画していますが、その一環として、5月15日の創立記念日に和敬塾講演録Ⅰを発刊することになりました。

この講演録Ⅰの詳細につきましては、和敬塾メールマガジン第68号をご参照ください！

2024年5月10日～2024年12月31日の間に
5,000円以上の寄附を戴いた塾友と塾生の保護者様全員に
この記念すべき講演録Ⅰを進呈いたします！

なお、500冊限定となりますので、お早目に寄附手続きをお願い致します。また、寄附金確認後、発送に1週間程度のお時間を戴きますので、ご了承ください。

<文責:佐藤一義(専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン特別号IV



2025年4月21日 和敬塾事務局

<和敬塾創立 70周年記念塾祭のお知らせ>

和敬塾創立70周年を記念する塾祭が5月11日(日)に開催されます。

今回は、この創立70周年事業の一環で実施した塾友の思い出がこもったグランドピアノ(昭和32年製)の修復が完了し、そのピアノのお披露目も兼ねた記念演奏会を企画しました。

演奏は塾友の谷口善志郎さん(S36 南)のご親戚(姪御さん)の平井真美子さんにお願いしました。平井さんのご主人はシンガー・ソングライターの森山直太朗さんで、この塾祭の打合せのためにご夫妻で来塾された際、森山さんは和敬塾の雰囲気や大講堂の素晴らしさに感動されていました。

<塾祭のプログラム>

10:10 開会の辞	前川理事長
10:15 塾友会代表挨拶	福山塾友会長
10:20 在塾生代表挨拶	全塾委員長
10:25 留学生代表挨拶	各寮4名の代表
10:50 記念演奏会	平井真美子さんによるピアノ演奏 - 70年目の言伝 -
11:55 塾歌齊唱	
12:00 式典閉会	
12:20 記念パーティー@本館中庭 (13:00 終了予定)	



<平井真美子さんのプロフィール>

平井真美子 作曲家・ピアニスト

京都府出身。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。誰の心にも去来する想いを綴るような、親しみやすく美しく前向きなメロディー。また時に深く、静的でも動的でもある生きたメロディーが幅広く共感を得る。

24年4月には最新作のピアノソロアルバム「とあるひ」記録集 a day を発表。2025年3月、兵庫県芦屋市立美術博物館にて1日限りの音の展覧会「とあるひのこと 平井真美子」を開催。兼ねてから親交の深い楽器修復師から譲り受けた廃材を再利用した作品の展示や、修復された足踏みオルガンやミニピアノなど古い鍵盤楽器による演奏会を行った。

劇伴作家としてドラマ「過保護のカホコ」、「神様のカルテ」、「リラの花咲くものみち」、映画「白夜行」、「恋妻家宮本」、「君の忘れ方」、NHK「にっぽん縦断こころ旅」(BS4K, BS)など、幅広く作品を手掛ける他、坂本美雨のアルバム「birds fly」では編曲・ピアノ演奏、楽曲提供で参加するなど、アーティストのレコーディングにもピアニストとして多数携わる。2012年、新進気鋭アーティストに贈られるアメリカの S&R Washington Award 賞。クラシックのソリストへ委嘱作品を創作するなど、活動は多岐に渡る。



公式 HP

<https://hirai-mamiko.com/>

公式 Instagram



なお、当日の14時～17時は「和敬塾フェア」を開催しますのでお楽しみに！

「和敬塾フェア」の詳細はメールマガジン第98号で紹介していますので、ご確認下さい。

[和敬塾メールマガジン「第98号」 Wakaijuku メール](#)

<文責:佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

70th

和敬塾フェア開催

創立 70 周年を記念したイベントを開催します
和敬塾本館（旧細川侯爵邸）一般公開をはじめ
様々なイベントを予定しております

5/11 (日)
14:00-17:00
入場無料

見学



和敬塾本館
(旧細川侯爵邸)
一般公開

体験



特別な場所での
茶道体験
※要事前申込

伝統



居合道
演武会

和敬塾本館（旧細川侯爵邸）は、東京都指定有形文化財（建造物）に指定される歴史的建造物で、月に1、2回程度のガイド付き見学会を除き通常はお入りいただくことができませんが、当日は特別に一般公開いたします。（最終入館時間 16：30）

和敬塾教養講座茶道部、裏千家講師江川宗京先生と和敬塾茶道部塾生によるお茶会。和敬塾本館（旧細川侯爵邸）内にて、本格的なお点前を体験してみませんか。当日はお茶菓子とお抹茶をお召し上がりいただけます。

和敬塾教養講座居合道講師と和敬塾居合道部塾生による居合道演武会を行います。普段の生活ではなかなか目にすることが出来ない、模擬刀を使った迫力の演武をどうぞご覧ください。

◎「茶道体験」は事前お申し込み制です

※お申し込みは先着順とさせていただきます（各回定員 20 名）

- ① お名前
- ② ご希望時間
(14：15～／15：15～／16：15～のいずれか)
- ③ 参加人数
- ④ ご連絡先電話番号

上記①～④をご記載の上、以下のメールアドレスにお送りください。

メール宛先 : junn@wakei.or.jp

締め切り : 2025 年 5 月 7 日（水）まで

和敬塾敷地 MAP



アクセスはこちら

—お願い—
駐車場はございませんので、
公共交通機関をご利用の上
ご来場ください

他にも、様々なイベントを予定しております
どうぞこの機会にぜひ和敬塾を知ってください

【お問合せ】 公益財団法人和敬塾

□ 東京都文京区目白台 1 丁目 21-2

☎ 03-3941-7446 (平日 9:00-17:00)

主催
公益財団法人和敬塾